



「連携の輪の中で」 ～「ハッピーピクニック」への参加から～

今年度、各病棟の療育活動の一環で「ハッピーピクニック」が行われています。患者さん4～5名のグループで、院内・外を散策したり、ゲーム等のレクリエーションをしたりします。コロナ禍以前の社会見学に替わるもので、年間を通して計画的に行われます。

このハッピーピクニックに分教室もお誘いいただき、各生徒が1名ずつ期日を決めて参加しています。これまで、中学部：Aさん、高等部：Bさんが参加しました。

普段の学習活動とは異なる環境の中での活動は、社会性や興味・関心の幅を広げる上で大変貴重な機会だと思っています。また、これまでの学習を通してできるようになったことを発揮する絶好の場でもあります。そして、この機会を活用した生徒の様子や支援等に関する病院スタッフの方々との情報交換は、日常的な移行支援にもなります。

高等部3年生の3名は、来年4月から病棟での日中活動へ移行することになります。このことを踏まえ、ハッピーピクニックの他、通常の療育活動へも時折参加させていただくことになりました。大変心強く、ありがたい連携です。

連携の輪の中で、生徒達の笑顔を支えるバトンを共有し、大切に引き継いでいきたいな、と考えています。



【保育士さんと
～「いこいの家」にて～】



【学習で使っているタブレットで返事をしました】



【エブロンシアターを鑑賞しました】